

魅力的な農業経営を目指すために、家族同士で経営方針や一人一人の役割を話し合い、締結する家族経営協定。
3月27日にこの協定を結ばれたのは、渡部聡さん・あきほさんご夫婦（下山）と、高橋一彰さん・千鶴さんご夫婦（岩下）です。
締結式では、大宅町長、積口和司南会津農林事務所農業振興普及部長、五十嵐伸人農業委員長、JA会津よつばから星晴博さんの立会いのもと、協定が結ばれました。
地域農業の担い手として、渡部さんご夫婦と高橋さんご夫婦の活躍が期待されます。

魅力的な農業経営を目指して 2組のご夫婦が家族経営協定を締結



前列左から渡部さんご夫婦、高橋さんご夫婦

未来に羽ばたけ、新1年生！

「あねさ会」の皆さんが、手作りの“青い鳥マスコット”を贈呈



マスコットを手渡す「あねさ会」の皆さん（南郷小学校）



思いのこもった
手作りマスコット

南郷トマト農家や子育て世代の女性を中心となり活動している「あねさ会」。
4月2日、会のメンバーが館岩・伊南・南郷の各小学校を訪れ、手作りのマスコットを手渡しました。今年度小学校に入學した子どもたちへのお祝いと、未来に向けて元気に過ごしてほしいとの思いが込められています。
マスコットは、各家庭で眠っていた毛糸を集めてリサイクルしたもので、かわいい姿に生まれ変わりました。

藍染めの奥深さを学ぶ 奥会津博物館で藍染講座を開催



「藍建て」に挑戦する参加者の皆さん

4月11日、奥会津博物館で藍染講座の開講式が行われました。第1回目の講座には町民約30人が参加し、「藍建て」の技法を学びました。
「藍建て」とは、水に溶けにくい藍の色素をアルカリ溶液で還元し、染色できる状態にする技法です。新たに配属された地域おこし協力隊員2人も参加し、藍染めの原点となる技術を学びました。
今後は化学染料を使用しない「藍建て」技法など、年間15回の講座が予定されており、藍染め文化を受け継ぐ人材の育成に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症予防のために 町内保育所、幼稚園にマスクを寄贈



マスクを手渡す渡部代表社員㊟（田部原保育所）

国内では新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、県内でも複数の感染者が確認されました。
全国的にマスクの品薄状態が続く、感染症予防への対策に苦慮する中で、合同会社キズナ（渡部友一代表社員）から、町内の保育所と幼稚園にマスクが贈られました。
4月17日、マスクを手に田部原保育所を訪れた、渡部代表社員。「感染症予防のために、活用してください」とあいさつされ、星所長にマスクを手渡しました。
星所長からは「大変ありがたく思います。有効活用させていただきます」と、感謝の意が示されました。



田島中学校



南会津高校



田島高校



南会津中学校



館岩中学校



荒海中学校



桜沢小学校



田島第二小学校



田島小学校



伊南小学校



館岩小学校



荒海小学校



南郷小学校

新たな学校生活をスタート
4月6日に町立小学校7校と中学校4校、同8日に県立高校2校でそれぞれ入学式が行われました。
世の中は暗い話題ばかり目立ちますが、新入生の皆さんはそれを吹き飛ばすかのように、元氣よく堂々とした姿を見せてくれました。
【新入生徒数】
田島高校 43人
南会津高校 42人
田島中学校 70人
荒海中学校 12人
館岩中学校 13人
南会津中学校 18人
田島小学校 35人
田島第二小学校 14人
桜沢小学校 11人
荒海小学校 11人
館岩小学校 5人
伊南小学校 3人
南郷小学校 7人